

医療と介護の移行を図る新たな評価

課題・論点

介護保険への移行が困難とされる理由としては、介護保険によるリハビリテーションの質等に対する不安、介護の対象となることに対する心理的な抵抗感、患者の医学的リスクへの対応に関する不安等が挙げられている。

医療保険におけるリハビリテーションと介護保険におけるリハビリテーションを別の施設で提供する場合には、終了する日前の2月間に限り、双方を併用できる。

改定の具体的対応

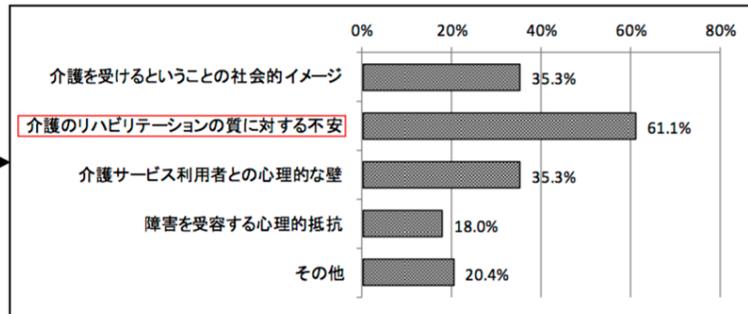
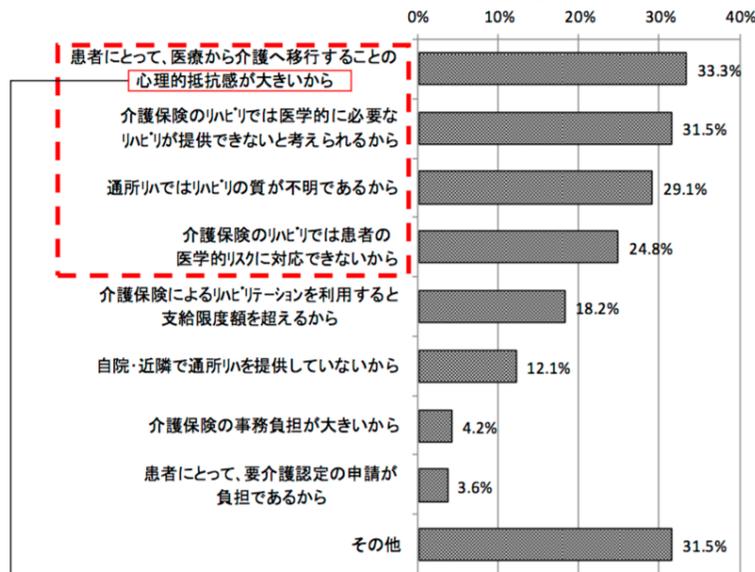
介護保険リハのお試しが可能へ

目標設定等支援・管理料を算定してから〇月以内に、当該支援における紹介、提案等によって、**介護保険におけるリハビリテーションの内容を把握する目的で、1月に5日を超えない範囲**で介護保険におけるリハビリテーションの提供を受ける場合は当該「移行」に含まない。

介護保険のリハビリへの移行が困難と見込まれる理由

- 維持期リハの外来患者が介護保険のリハビリテーションへ移行するのが困難になる理由としては、「患者の心理的抵抗感」「介護保険のリハでは医学的に必要なリハビリが提供できない」「通所リハの質が不明」「介護保険のリハビリでは患者の医学的リスクに対応できない」等が挙げられた。
- 介護のリハビリテーションの質に対する不安は「介護へ移行することの心理的抵抗感」の内容としても挙げられていた。

病院外来患者 (n=165施設)



診療所外来患者 (n=301施設)

